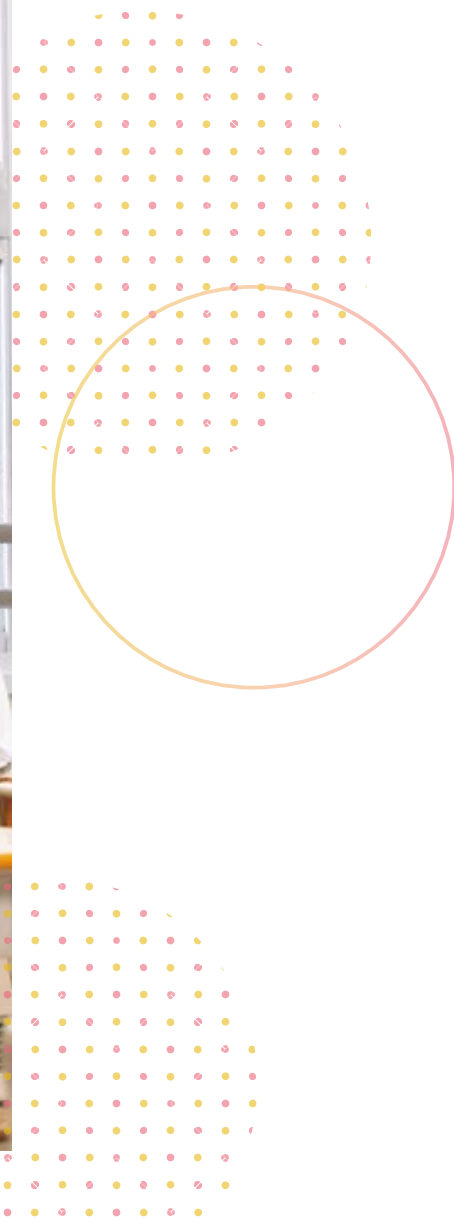




東京都立 桜修館中等教育学校

令和8年度 学校案内





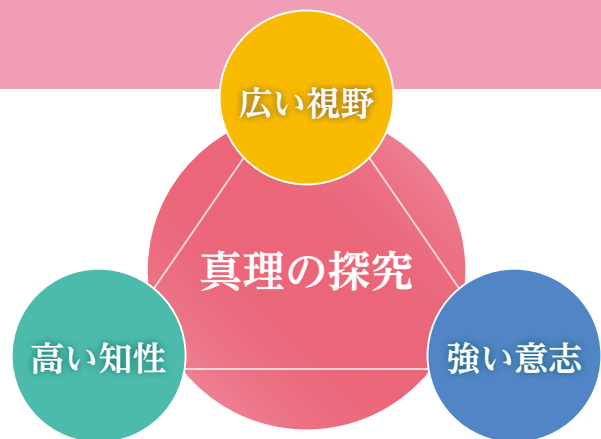
真理の探究

スクール・ミッション

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

グラデュエーション・ポリシー

- ①**高い知性**：確かな学力を身に付け、論理的に考えて課題を解決する力や自主的な表現力を身に付ける。
- ②**広い視野**：生命を大切にし、他者を思いやる心や人権を尊重する態度と国際社会に貢献しようとする態度を身に付ける。
- ③**強い意志**：困難な課題に対して、勇敢に立ち向かって根気よく解決する精神力と体力を有し、責任をもって行動する姿勢を身に付ける。



■ ごあいさつ

校長 信岡新吾



本校は、旧制府立高等学校、東京都立大学附属高等学校の歴史を受け継ぎ、平成18年に、新たな中高一貫教育校として開校しました。今年度創立20周年の節目の年を迎えます。

「桜修館」の校名は、戦前から引き継がれた校歌の中の「崇高(たか)き姿の不二(ふじ)の嶺、 国の誇りの桜花(さくらばな)」から名付けられています。本校の所在する八雲が丘には桜の木々が多く、卒業生を送り出し、新入生を迎える春の季節には、学校の周りのそここに桜の花が咲き誇ります。生徒たちは、年間を通して多くの木々と緑に囲まれた落ち着いた環境の中で学校生活を送っています。

本校は、6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材の育成を目指し、前期課程では学習意欲を喚起し、確かな学力を身につけさせ、物事を論理的に考える姿勢を育成するとともに、他者を思いやる心と態度を養う。後期課程では、真理の探究を目指し、強い意志をもって、知性を高め、感性を磨き、視野を広め、学習の成果を生かし、国際社会に貢献することが出来る人材を育成する。これを教育目標としています。

この達成に向けて、学習面では本校独自学校設定教科「国語で論理を学ぶ」、「数学で論理を学ぶ」を中心に教科横断的・文理融合型の学びを展開し、その集大成として5年生で5000字の研究論文を執筆し、6年生でその論文の要旨を英語でまとめるなど、論理的な思考力・表現力の育成を図っています

また、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングルから選択する第二外国語や、全生徒を対象としたTOKYO GLOBAL GATEWAYで行う1学年の英語体験研修や2学年で実施する国内宿泊英語研修(於福島県ブリティッシュヒルズ)、5学年で行う海外修学旅行(台湾)のほか、希望者を対象に行う校内英語研修や海外英語研修(オーストラリア)、海外大学リーダー育成研修(アメリカ)などのほか、年間を通じての短期・長期の留学生を受け入れるなど、語学学習・国際理解教育の充実を図っています。

学校行事では、本校3大行事であるクラスマッチ(体育祭)や記念祭(文化祭)、合唱コンクールは伝統的に生徒自身により企画・運営され、毎年盛大に行われます。

また、全国大会や都大会等で優秀な成績を収めてきた弓道部や陸上部、吹奏楽部をはじめ、多くの部活動が活発に活動しています。

中高一貫教育校である本校では、小学校を卒業したばかりの1年生から翌年は大学に進学する6年生までの6学年に及ぶ異年齢集団が、後輩は先輩を敬慕し、先輩は思いやりをもって後輩のことを気遣いながら、互いに協力して学校生活を送っています。

6年間のキャリア学習と教科学習、学校生活を通して、生徒の高い志を育成し、自己実現と進路希望の実現を図っています。

学校紹介日、授業公開週間などの機会に、是非本校生徒の様子を直接ご覧いただき、本校への志望をご検討いただければ幸いです。

沿革

- 1929年2月 府立高等学校(尋常科4年、高等科3年の7年制)として、東京市麹町区永田町にて設立
- 1932年4月 東京府荏原郡碑衾町(現在地)に移転
- 1943年7月 東京都制の実施に伴い、都立高等学校と改称
- 1948年4月 新学制により、東京都立新制高等学校に改組
- 1949年4月 男女共学制実施
- 1949年12月 東京都立大学附属高等学校と改称
- 2006年4月 東京都立桜修館中等教育学校、開校
(東京都立大学附属高等学校は2011年3月をもって閉校)
※校章、校旗、校歌は府立高等学校以来のものを使用しています

高い知性

論理を学ぶ



国語で 論理を学ぶ

国語で論理を学ぶ（以下「国論」）では、「話す」「聞く」「読む」「書く」という国語の4領域において、論理的に考えたり、分かりやすく相手に伝えたりする力を身に付けます。1年生では情報の集め方を学び、根拠を示して説明することができる力を付け、2年生では思考の視覚化やメディアの比較などを行います。3年生では具体と抽象の関係に注意して読解したり、文章を書いたりする方法を学び、説得力のある小論文を書くことを目指します。

数学で 論理を学ぶ

数学で論理を学ぶ（以下「数論」）は、真理の探究のための大切な基礎となります。数量、図形等を題材にして、論理的に考察し解決できる能力を身に付けます。深く思考し、法則や規則性を他者と協力して見つけ、相手に分かるように論理的な説明をすることを、個人やグループで行います。3年生では和算を学び、算額の問題を作り、算額コンテストに応募します。統計分野についても学び、データを根拠に説明し、表現する力を身に付けます。



	1年生	2年生	3年生
国語で論理を学ぶ	情報の扱い方 基礎的な文章の書き方	思考の視覚化 具体と抽象	情報の信頼性 グラフを用いた文章作成
数学で論理を学ぶ	身近な情報の分析 数学的探究	身近な題材を用いた確率の求め方 数学的探究	統計の手法を用いたデータの分析 算額を作ろうコンクール

前期課程では独自の教科「国語で論理を学ぶ」「数学で論理を学ぶ」で、論理的な思考力・表現力を養います。

桜修館の学び

6年間の一貫した教育を通して、幅広い教養と発展的な学習内容を扱い、高い知性の定着を図ります。

■ 少人数・習熟度別授業

英語（2・3年生）で少人数授業、英語と数学（4・5年生）で習熟度別授業を実施しています。それぞれの生徒の学習進度に合わせ、きめ細かい指導を行っています。

■ 選択授業

5年生以降では希望の進路に応じて必要な科目を選択します。国公立大学受験に対応した授業を行っています。

■ 土曜授業

年間20回程度の土曜授業を実施し、授業での学びを大切にしています。前期課程では幅広くバランスのとれた学力を身に付け、後期課程では全科目を重視して広く教養を身に付けさせるとともに、進路実現に向けた確かな学力の向上を目指しています。

■ 講習

校内で例年60講座程度の夏期講習を実施しています。それぞれの学習進度や進路希望に応じて、本校教員が実施する多彩な講座から生徒が自由に選択します。

■ チューター

卒業生がチューターとして月曜日～金曜日の夕方と、授業のある土曜日の午後に来校しています。勉強の質問や進路相談ができる環境を整え、自学自習を支援しています。

■ 第二外国語

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ハンガルの講座を設置しており、4・5年生の希望者が選択できます。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を養うとともに、言語だけでなくその言語圏の文化に対する理解を深めます。

教育課程表（令和8年度入学生）※学校案内作成時点でのものです。予告なく変更することがあります。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	自由選択科目
							第二外国語
1				現代の国語(2)	論理国語(2)	論理国語(2)	フランス語(2)
2	国語140(4)	国語140(4)	国語140(4)	言語文化(2)	古典探究(3)	政治・経済(2)	ドイツ語(2)
3						体育(2)	スペイン語(2)
4				地理総合(2)	倫理(2)		中国語(2)
5	国論Ⅰ35(1)	国論Ⅱ35(1)	国論Ⅲ35(1)	歴史総合(1)注6	数学Ⅱ(1)	英語コミュニケーションⅢ(4)	ハンガルの(2)
6	社会105(3)	社会105(3)	社会140(4)	公共(1)注6	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)		
7				数学Ⅰ(2)	化学(3)		
8				数学Ⅱ(2)	生物物理(3)*		
9	数学140(4)	数学140(4)	数学140(4)	数学A(2)	日本史探究世界史探究(4)*	古典探究演習(3)	第6学年
10				数論Ⅰ35(1)	地理探究地学基礎(2)*	世界史探究演習A日本史探究演習A地理探究(2)*	地理探究演習(2)
11				数論Ⅱ35(1)	化学基礎(1)注6	数学Ⅲ演習(5)	数学ⅠA演習(2)
12				数論Ⅲ35(1)	生物基礎(2)	数学Ⅲ演習Ⅱ(5)	数学ⅡBC演習(2)
13	理科140(4)	理科140(4)	理科140(4)	情報Ⅰ(2)	体育(3)	文系数学発展演習(4)	理系古典演習(2)
14				保健体育105(3)	保健(1)	現代文演習(2)	情報演習基礎(2)
15	保健体育105(3)	保健体育105(3)	保健体育105(3)	芸術Ⅰ(音楽美術)(2)*	英語コミュニケーションⅡ(4)	化学演習(4)*	理系数学演習(2)
16	音楽45(1.3)	音楽35(1)	音楽35(1)	英語コミュニケーションⅠ(3)	論理・表現Ⅱ(2)		情報演習基礎(2)
17	美術45(1.3)	美術35(1)	美術35(1)	英語コミュニケーションⅡ(4)	家庭基礎(2)		理系数学演習(2)
18	技術・家庭70(2)	技術・家庭70(2)	技術・家庭35(1)	英語コミュニケーションⅢ(3)	総合探究(1)		歴史総合演習(1)
19				英語175(5)	LHR(1)		地理総合演習(1)
20	英語140(4)	英語140(4)	英語175(5)	英語コミュニケーションⅠ(3)	LHR(1)		政治経済演習(1)
21				英語コミュニケーションⅡ(4)	LHR(1)		倫理演習(1)
22	道徳35(1)	道徳35(1)	道徳35(1)	英語コミュニケーションⅢ(3)	LHR(1)		物理基礎演習(1)
23	総合50(1.4)	総合70(2)	総合70(2)	英語コミュニケーションⅣ(4)	LHR(1)		化学基礎演習(1)
24	学活35(1)	学活35(1)	学活35(1)	英語コミュニケーションⅤ(5)	LHR(1)		生物基礎演習(1)
25				英語コミュニケーションⅥ(6)	LHR(1)		地学基礎演習(1)
26				英語コミュニケーションⅦ(7)	LHR(1)		情報演習基礎(1)
27				英語コミュニケーションⅧ(8)	LHR(1)		情報演習(1)
28				英語コミュニケーションⅨ(9)	LHR(1)		英語演習(2)
29				英語コミュニケーションⅩ(10)	LHR(1)		フードデザイン(2)
30				英語コミュニケーションⅪ(11)	LHR(1)		美術Ⅱ(2)
31				英語コミュニケーションⅫ(12)	LHR(1)		
32				英語コミュニケーションⅬ(14)	LHR(1)		
33				英語コミュニケーションⅭ(15)	LHR(1)		
34				英語コミュニケーションⅮ(16)	LHR(1)		
35				英語コミュニケーションⅯ(17)	LHR(1)		
	1120時間(32)	1120時間(32)	1155時間(33)	33～35単位	33～35単位	26～32単位	

生徒の声

数論や国論といった論理の授業だけでなく、様々な教科で「論理的に考えること」「文章を書くこと」「話し合いをすること」が求められます。それらの活動を通じて、実践的な論理的思考力や表現力が身に付けられていると思います。

桜修館では、文理を問わず満遍なく様々な教科を学ぶことができます。私は文系ですが、しっかりと理科や数学も学び、幅広く基本的な教養を身に付けることができ、進路選択においても、それがとても役立ちました。

教科の特色

英語

4技能をバランスよく伸ばし、世界に通用する英語力の向上を目指します



桜修館の英語の授業では、少人数クラス（2～5年）で、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく伸ばします。6年間一貫して多くの英文を読む、聴くというインプット活動を土台に、前期課程ではスキット、劇、スピーチ、作文などのアウトプット活動を行い、英語で思考・発信する力を養います。SDG sのような社会問題を取りあげ、ミニディベートなども行います。後期課程では、前期課程での学習をふまえ、作文、スピーチ、プレゼンテーション、ディベートなどを行い、より高度で複雑な内容を英語で理解・表現する能力を養います。同時に様々な題材の英文を正確に読む力を身に付けます。3年修了時にはCEFRレベルA2（英検準2～2級程度）、6年卒業時にはCEFRレベルB2（英検準1級程度）の力を身に付けています。またネイティブの先生3名が常駐しています。6年間を通してネイティブの先生との授業が豊富にあり、気軽に質問ができる環境もあります。

国語

論理的な思考力と表現力を育成します



自ら課題を発見し、論理的に解決し、適切に表現できる力を育むため、中高一貫の1,2年生を「基礎・探究期」とし、ノートの取り方や辞書の引き方や言葉の使い方、文章の読み取り方や自分の考えを適切に表現することを学びます。そして3,4,5年生を「応用・充実期」とし、様々なテーマの文章を探究的に読解することで論理的思考力や表現力を学びます。6年生は「総合・発展期」とし、より発展的な文章を読むことで実践的な読解力を身に付けます。毎月の読書課題による継続的な読書習慣の定着、新聞スクラップを活用した学習を通じて、不確実な社会を生き抜くために必要な教養や幅広い視野を身に付けます。6年間積み重ねた本校での国語の学習を通して、生涯にわたって必要な言葉の力を身に付け、自分の力で真理の探究が出来る生徒を育てます。

数学

問題を解くだけでなく、数学の楽しさを体得します

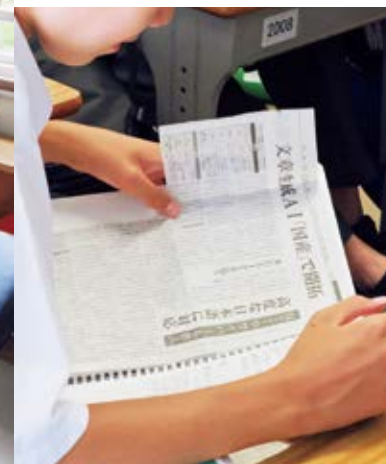


6年間を通じて、数的類推力と論理的思考力を育成します。前期課程では、1年生から3年生で、「数学で論理を学ぶ」の授業を行います。論理的な論文を書く上で、統計的な手法を正しく活用できる能力を育てます。また、週4時間の授業を「代数」と「幾何」の2種類に分けて実施します。代数では数式や関数を、幾何では図形を中心に扱います。後期課程では、個々の希望や実力に応じた教育を行うために、習熟度別学習を実施しています。また、5年生では文系・理系などの進路に応じて学習内容を選択します。学習指導要領の内容を5年生までにほぼ終え、6年生は演習を中心に行います。分からないところは根気強く反復していくうちに、問題を解くだけでなく数学の世界を味わい、学ぶ楽しさを体得していきます。

真理の探究

探究学習

多彩な授業、国語で論理を学ぶ、数学で論理を学ぶ、国際理解教育等を通じて興味関心の幅を広げ、探究学習へ進みます。「真理の探究」を校訓としている本校では、1年生より論文作成に取り組みます。



1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
基本的な論文の書き方を学ぶ 調査内容や体験を分かりやすくまとめた視覚資料（ポスターやレポート）を作成する	根拠をもとに自分の意見をまとめる 根拠を明示した視覚資料（ポスターやレポート）を作成する	自分の調査や考えを文章にする 設定したテーマに基づく調査をまとめた論文形式の文章を作成する	研究論文テーマの決定 課題（リサーチ クエスション）を設定し、考察、検証する	研究論文作成 リサーチ クエスションに基づいた仮説設定、調査、検証、考察を備えた5,000字程度の論文を作成する	研究論文英文要旨作成 8行程度の英文の論文要旨を作成する
国論数論でも、論理的な考え方・まとめ方・伝え方を学びます					

4年生では大学の先生や探究アドバイザーの方の指導を受けながら自分の興味関心に基づき、リサーチクエスションを設定します。5年生では1人の教員に4名ほどの生徒がつき、個別指導やグループ協議などを行いながら探究を深め、1年間をかけて5,000字程度の論文を作成します。論文作成を通じた探究的な学びが、桜修館での集大成となるだけでなく、卒業後のさらなる学びの深まりにつながる生徒も多くいます。

優秀論文タイトル

- 令和6年度**
 最優秀賞 トウモロコシの葉が逆位相的に波打った形状を持つのはなぜか
 優秀賞 音色はリラックスに影響するか
- 令和5年度**
 最優秀賞（文系） SNSにおける読点の使用傾向について
 最優秀賞（理系） 虹が観測できる場所を予測する手法の提案



広い視野 国際理解

6年間を通して、海外語学研修、海外修学旅行、海外大学研修などの国際理解教育に取り組み、国際社会を担う人材を育てます。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
異文化理解	Tokyo Global Gateway	ブリティッシュヒルズ			台湾修学旅行	
			学校交流（訪問受け入れ等）			
			オーストラリア海外語学研修			
リーダー育成	グローバルスタータープログラム			海外大学リーダー育成アメリカ研修		

台湾修学旅行 ・相互交流

5年

多民族が共生する台湾において、人々との触れ合いや現地での体験をととして、異文化理解を深め、広い視野をもって国際社会へ貢献する意欲を高めます。また、現地の高校を訪問し、同年代の生徒と交流を行うとともに、継続的な相互の学校交流をはかり、本校への訪問受け入れも行っています。



伝統的な踊りを見せてもらったり家庭的な料理と一緒に作ったりと、普段日本では出来ないような貴重な体験をして、現地の高校生との交流を深めることが出来た。



自由行動で市場を見学し、台北の人々の日常生活の一端に触れることができた。屋台で食べた胡椒餅などの台湾独自の食べ物がおもしろかった。

グローバルスタータープログラム 1・2年

6～7名のグループに1人ずつ外国人留学生在グループリーダーとして配置され、様々なアクティビティやディスカッションを行います。英会話能力やグローバルマインドを養います。



グループリーダーたちや生徒と楽しく英語を学べた。英語力、発表能力、コミュニケーション能力をUPさせられるプログラムだった。

Tokyo Global Gateway 1年

海外をイメージして作られた街並みのなかで、英語を使って様々な体験を行います。



ブリティッシュヒルズ 2年

中世の英国を再現した施設に宿泊し、非日常空間のなかで語学研修や文化体験を行います。



次世代リーダー育成道場 4・5年

国内事前研修で様々なことを学び、その成果をもって留学にチャレンジする都立高校生等を支援する東京都教育委員会によるプログラムです。約半年の事前研修を経て、約11カ月の海外研修に参加します。

留学当初は英語力や文化の違いから戸惑うこともあったが、自分から積極的に行動して多様な人と出会い、視野が大きく広がった。全く新しい環境で得た素晴らしい体験は、何ものにも代えられないものとなった。



オーストラリア 海外語学研修

3・4年



夏季休業中にオーストラリア・クイーンズランド州でホームステイをしながら現地の高校に通学し、英語のレッスンを受講したり、現地の生徒達と一緒に授業を受けたりします。英語でのコミュニケーション能力の育成や異文化理解など、今後のグローバル社会で必要となる力を身に付けることを目指します。



現地校ではバディと一緒に授業に参加し、貴重な体験をすることができた。最終日ホストファミリーに“I was able to do everything that I wanted to do in Australia.”とその時の気持ちと共に感謝の言葉を伝えた。喜んでもらえた上に、英語の上達まで褒めてもらえて嬉しかった。



海外大学リーダー育成 アメリカ研修

3～5年



アメリカの西海岸に所在する世界トップレベルの大学を訪問し、キャンパス見学や、教授、大学生と交流することで、国際的視野で物事を考えることができる、グローバルマインドを備えたリーダーとしての資質を育成します。また、海外で活躍している日本人や、アメリカの同世代の高校生との交流、現地企業への訪問を通して、グローバル社会における世界の見方、これからの国際社会、国際交流の在り方を学びます。



カリフォルニア大学バークレー校で現地の大学生とディスカッション等を行った。design thinking や visual thinking など学び、色々な絵画や写真から問題点を見つけ、それらをどう解決していくかについて意見交換をした。皆だんだん積極的に発言するようになり、最後には様々な意見が反映されたプレゼンテーションをすることができた。



学校交流 2～5年

異文化理解を目的として様々な国や地域の生徒を受け入れ交流をしています。令和6年度は、マレーシア、ドイツ、インドネシアなどの国・地域と対面やオンラインでの交流を行いました。



マレーシア



文化や価値観、生活が違う国の人々同士の交流の中で、異文化の理解力や相手に自分の伝えたいことを伝える表現力の向上ができた。



ドイツ



交流を通してお互いの文化の違いを知ることができた。本やネットで聞き取るのとは違う、実際に生活している人々の生の声が聞けて興味深かった。



インドネシア



ジェスチャーなども介しながらの会話の中で、日々の生活や各々の文化について互いに多くの学びを得た有意義な交流だった。

強い意志

自由と自治

本校の学校行事は、生徒が自ら考え企画から運営まで行っています。仲間と協働することを通じて、社会性、リーダーシップ、協調性を育みます。



4月

- 入学式
- 1学期始業式
- 1年生移動教室

5月

- クラスマッチ (体育祭)
- 生徒大会
- 3年生フィールドワーク

6月

- 1学期中間考査
- 授業公開週間
- 2年生フィールドワーク

7月

- 1年生フィールドワーク
- 4年生ようこそ小学生

8月

- 夏期講習
- 部活動合宿
- オーストラリア海外語学研修

9月

- 記念祭 (文化祭)
- 1学期期末考査

10月

- 1学期終業式
- 2学期始業式
- 2年生職場体験
- 4年生ようこそ小学生

11月

- 授業公開週間
- 生徒大会
- 3年生国内修学旅行
- 3・4年生学フォーラム
- 5年生台湾修学旅行

12月

- 2学期中間考査
- 1年生美術館・博物館めぐり
- 4年生地域防災訓練

1月

- 2年生ブリティッシュヒルズ

2月

- 合唱コンクール
- マラソン大会
- 生徒大会

3月

- 学年末考査
- サイエンスフォーラム・グローバルシンポジウム
- 卒業式 ● 修了式
- 海外大学リーダー育成アメリカ研修
- グローバルスタープログラム

※令和7年度の行事予定です。時期や内容等変更することがあります。



R7年度 自治会会長

自治会役員会とは他の学校で言うところの、生徒会のような組織です。自治会という名前は、本校が大切にしてきた「自由と自治」という伝統的な言葉に由来しています。主な仕事は、新入生歓迎会や部活動紹介など、三大行事以外の学校行事の企画・運営です。また、校則についての話し合いや、学校外のボランティア活動も行っています。さらには桜修館の予算、決算の案も自治会役員会が作成しています。これは他の学校ではめったにないことで、自分で自分を律する「自由と自治」という桜修館の特徴を色濃く表しています。私たち自治会役員会は、より良い学校にしていけるよう、日々心を込めて活動しています。



R7年度 クラスマッチ幹部

クラスマッチは、桜修館独自の三日間にわたる体育祭です。全学年が青・黄・緑・赤の色ごとのクラスに分かれ、球技や団体競技で競い合います。応援や連携を通じて学年の垣根を越えたつながりが生まれるのが魅力です。各クラスでデザインするクラスTシャツや、応援団も見どころです。行事は後期生の幹部が企画・運営し、仲間と作り上げる喜びを感じられます。伝統を受け継ぎ全力で楽しむ、それがクラスマッチです！



R7年度 記念祭幹部

桜修館の文化祭「記念祭」は、東京都立大学附属高校時代から続く伝統行事です。1～6年生の企画は展示・劇・イベント・食物模擬などがあり、たくさんの魅力と個性にあふれています。また、各部活団体らの企画も大人気です。何と言っても、これらの企画全てが生徒によって発案・運営されています。私自身、記念祭を通じて他者とのつながりや主体性を持つことができました。桜修館の魅力が詰まった記念祭です。ぜひお越しください。



R7年度 合唱コンクール幹部

桜修館の3大行事で最後に行うのが合唱コンクールです。各クラスが金賞を目指して課題曲と自由曲の2曲を歌います。音楽の楽しさや仲間と協力する大切さを学ぶことができるのがこの行事の素晴らしい点ではないでしょうか。大きなホールで響く歌声は貴重な経験となり、1年間の集大成として素晴らしい思い出になります。合唱コンクール幹部は、先生方や生徒の皆さんと話し合いながら、より良い行事を目指して運営しています。幹部として行事に携わることで、思い出が深まるだけでなく、主体性や責任感などを身につけることができます。

理数教育

授業で知的好奇心を刺激し、理数分野に関心を持つ生徒の裾野を広げ、生徒の学習や研究の支援を積極的に行っています。

授業 基礎能力を身に着け、思考する力を育てます



中等教育学校という利点を生かし、前期課程から物理、化学、生物、地学の4分野に分かれ、それぞれの学問領域を体系的に学習します。自然現象についてより深く考えるために、1年生の授業から実験・観察の機会を多く設け、考察する活動を主軸に授業展開しています。さらには、授業から発展して各種科学コンテストなどで活躍する生徒もいます。それらの活動のサポートも多角的に行っています。コンテストでの経験を生かして、より高いレベルでの学習および研究を求めて進学先を考える生徒も多くいます。あらゆることに興味関心を持ち、考えぬいて解決する学びの過程を楽しんでいると感じられる人、桜修館の門を叩いてほしいと願います。

探究 授業で知的好奇心を刺激し、理数分野に関心を持つ生徒の裾野を広げます。

卒業生による探究活動や学習に対する支援

科学オリンピック等で受賞した卒業生が、探究アドバイザーとして本校に來校し後輩たちに助言・指導しています。理科実験の支援員、学習チューターも含めると15名ほどの卒業生が探究活動や学習に対する支援をしています。

桜修館サイエンスフォーラム

科学オリンピック等の出場生徒が在校生向けに講演をし、在校生の科学オリンピック参加や研究のきっかけとなっています。

第20回物理チャレンジ2024 女子最優秀賞受賞生徒の声

サイエンスフォーラムで先輩方の講演を聞いたことがきっかけで、科学オリンピックに興味を持ちました。科学オリンピックは意外とだれでも挑戦できるものだから科学が好きならやってみた方がいいという話を聞いて、好きな物理を自分で深く勉強するよいきっかけになると思い挑戦することにしました。私は元からすごく科学が得意というわけではないのですが、4年生の時の物理の授業が面白く物理が好きになりました。物理は自力での勉強も楽しんで頑張れるなと思ったので、今回一歩踏み出す勇気が出ました。物理チャレンジは第一チャレンジと第二チャレンジがあり、第一チャレンジを通過できると合宿制の第二チャレンジに参加することができます。第一チャレンジは実験レポートの提出と理論問題のテストがあります。実験レポートでは、先生方と先輩方に遅い時間まで実験に付き合ってもらっていたり、何度も相談に乗っていただいたりして、手探りで進めながらもなんとか形にすることができました。理論問題のテストに向けては、高校物理の範囲を先取りして勉強し、毎週先輩の講義を受け、過去問を解いては先輩が送ってくれる解説を読む、ということをしていました。初め



桜修館サイエンスフォーラムの様子

での出場でしたが、先輩方に熱心にサポートしていただいたお陰で、第一チャレンジで女子最優秀賞（東京理科大学賞）を頂くことができ、とても嬉しいです。第二チャレンジに向けて、より物理を深めていこうと思っています。

研究活動支援 卒業生の声



● 第19回全国物理コンテスト物理チャレンジ 優良賞・女子最優秀賞受賞
● 東京大学工学部に合格



● 化学グランプリ2023 銀賞受賞
● 慶應義塾大学医学部に在学。千葉大学医学部にも合格。

私が物理チャレンジに参加したときは孤軍奮闘の状態でしたが、地理オリンピック日本代表や化学グランプリ、生物学オリンピックで全国入賞する同期に恵まれ、互いに刺激を与え合い、受賞することができました。私たちがサイエンスフォーラムで科学オリンピックの面白さについてお話しした結果、多くの後輩が積極的に参加してくるようになりとても嬉しい限りです。新しいことに挑戦しようとする人たちを卒業生は全力でサポートします！



令和5年度卒業生による在校生の研究活動支援の様子

卒業生インタビュー



令和4年度卒業 学校推薦型選抜にて東京大学工学部に合格
第46回全国高等学校総合文化祭東京大会奨励賞（ポスター発表部門全国4～8位）受賞

令和5年度卒業 学校推薦型選抜にて東京大学工学部に合格
第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会最優秀賞（口頭発表化学部門1位）受賞
化学グランプリ2023 金賞受賞

——兩名とも桜修館では科学部に所属し、東京大学工学部に学校推薦型選抜にて合格・進学しています。科学部では東京大学生産技術研究所の研究協力を受けながら研究活動を行い、令和5年度第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会最優秀賞（1位）をはじめ多くの賞を受賞しました。まずは科学部での研究内容を教えてください。

卒業生T：科学部では温度応答性高分子材料や光触媒の応用というテーマで研究を行いました。SDGsの11番に「住みやすいまちづくりを」と掲げられていることに関連し、温暖化が進みますます過酷になっている都市の気候を化学的な材料の力で和らげることを目標として、物質の評価を中心とした実験を進めました。具体的なアイデアとしては、気温が高くなった時にだけ水分を放出するような材料を地面のコンクリートに混ぜこむことで、夏の「打ち水」と同じ効果を再現するという方法を出発点として、最終的にはいろいろな機能を持ったセメントの開発という実用面に近い内容に取り組んでいました。

——SDGsといえば、Hさんは自治会として全校にSDGsについて発信していましたね。

卒業生H：私は3年生の頃から「中庭プロジェクト」といって、桜修館の中庭を整備する活動を行っていました。桜修館は緑豊かで、教室の窓から見える桜や梅もとても素敵なのですが、私が中学3年生の時までは中庭の整備が全くされていませんでした。友達と何気なく「休み時間に中庭でお弁当を食べたいね」と話していたことから自分たちで整備しようと思いつき、有志を募って中庭の植物の剪定、清掃などを行ってきました。同時に自治会役員として、全校生徒を対象にSDGsに興味を持ってもらえるような呼びかけも行いました。小さな思いつ



きからはじめたプロジェクトでしたが、美術で中庭のパブリックアートを行う等、学校中の様々な活動に繋がりました。桜修館での活動から、自然と人工物が融合した新しい建物作りについて研究したいと考え、建築学科に進む予定です。

——Hさんから進路の話がありましたが、Tさんはいかがでしょうか。

T：桜修館では科学部での活動のほかに化学グランプリに出場するなど、

化学寄りの興味が強かったのですが、科学部で高分子材料を日々扱う中で物質の多様な性質がどのような根本原理に基づいているのかに興味が移っていました。最終的には量子論に基づいて物質を研究する物性物理学を勉強したいという思いが強くなり工学部物理工学科を志望するに至りました。

——Tさんは6年次に化学グランプリで全国上位20位以内となる金賞を受賞されていますね。

T：化学グランプリの問題は高校での学習内容をベースに、他分野と融合した問題が多く、大学受験の難問とは違った楽しさがあるのが魅力です。同級生には国際地理オリンピックの日本代表や物理・生物のオリンピックで全国に行くようなレベルの高い友人が多く、お互いに刺激を受けながら学習を進めました。化学グランプリの本選では実験試験のほかに参加者の交流の場もあり、全国からの様々な興味関心を持った同世代と議論ができたことはとても充実した経験でした。



——Tさんをはじめとした先輩たちの科学オリンピック等の受賞に刺激を受けて、後輩から科学オリンピックへの参加者が増えています。6人のチームで科学分野の筆記競技と実技競技で競い合う科学の甲子園では、令和5年度総合成績において筑波大学附属駒場高等学校、麻布高等学校に次ぐ第3位、実技競技部門では第2位となるなど、過去最高成績を残しました。現在Hさんは探究アドバイザーとして、Tさんは理科実験の支援員として来校し、後輩たちの研究をサポートしています。

H：私より上の先輩たちの代から、自分たちが挑戦して、そのあとは後輩の挑戦を応援するという伝統が受け継がれているので、それが今このような形で結果が出ていると聞いてとても嬉しく思います。私も在学中は先輩にアドバイスをもらいながら科学の甲子園に出場し、卒業後はアドバイザーとなりました。実技などの練習をみて、自分の経験から助言はしましたが、最後は出場する皆さんの発想力で考えた方法でしっかりと結果をつかみ取っていて素晴らしいと思います。引き続き挑戦する人たちの手助けをしたいです。

各種科学コンテスト 受賞歴

令和6年度

- ・第20回全国物理コンテスト物理チャレンジ2024 第1チャレンジ 女子最優秀賞（東京理科大学賞）
- ・化学グランプリ2024 日本化学会関東支部 支部長賞、日本化学会関東支部 支部奨励賞
- ・日本生物学オリンピック2024 本選 敢闘賞
- ・第17回日本地学オリンピック 本選 金賞
- ・科学の甲子園ジュニア東京都大会（前期課程生） 総合7位

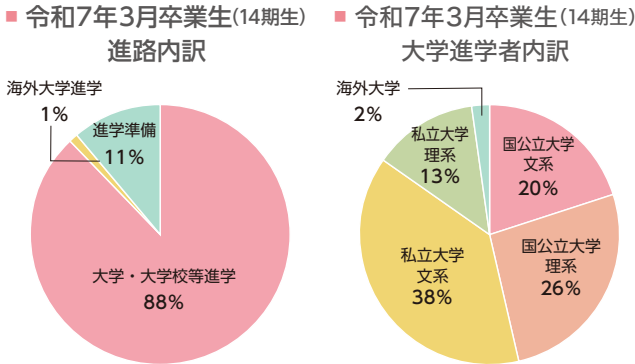
令和5年度

- ・第19回国際地理オリンピック・バンドン（インドネシア）大会 日本代表として出場 銅メダル
- ・化学グランプリ2023 金賞（全国上位20位以内）、銀賞（全国上位40位以内）
- ・第19回全国物理コンテスト物理チャレンジ2023 第1チャレンジ 女子最優秀賞（東京理科大学賞）、優良賞
- ・日本生物学オリンピック2023 本選 敢闘賞
- ・科学の甲子園東京都大会 総合成績3位、実技競技2位

進路決定



生徒自身の関心を軸に目標を設定し、進路決定に向かう中で高い志望をもち、困難なことに挑戦する態度を育てています。また、学校内外での生徒の主体的な活動を奨励することで、切磋琢磨しながらお互いを高め合う集団を作り、個人の力を高める支援を行っています。



6年間の進路指導 ～学びの体系～

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
目標	自己を見つめる 目標を設定する	働くを知る 将来の夢を考える	自己の適性を知る 学問を考える	キャリアデザインを 考える	目標達成の力を 身に付ける	目標達成に向かい 進み続ける
キャリア行事	自己分析 職業調べ 職場見学	職業人講話 マナー講座 職業体験学習	上級学校調査 職業人講話 適性診断	オープンキャンパス 大学講話 職業人講話	オープンキャンパス 卒業生講話 難関大学説明会	難関大学説明会 特別時間割講習

過去3年間の主な大学合格者数推移

<卒業生数> 令和7年：142名 令和6年：149名 令和5年：156名

国公立大学	令和7年		令和6年		令和5年		国公立大学	令和7年		令和6年		令和5年	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役		合計	現役	合計	現役	合計	現役
北海道大学	3	3			3	1	岡山大学	1	1				
北海道教育大学札幌校	1	1			3	1	鳥取大学			1	1	1	1
岩手大学	1	1					山口大学	1	1				
東北大学	3	3	4	4	2	1	愛媛大学	1	1	1			
山形大学			1	1			高知大学			1	1		
茨城大学	1	1					九州大学	2	2				
筑波大学	1	1	1	1	1	1	琉球大学					2	2
群馬大学	1	1					国際教養大学	2	2				
千葉大学	1	1	2	2	2	2	高崎経済大学					1	1
東京海洋大学					1	1	埼玉県立大学					1	1
お茶の水女子大学	1	1	1	1	2	2	東京都立大学	5	5	4	4	3	3
電気通信大学	1	1	2	2	1	1	神奈川県立保健福祉大学					1	1
東京大学	8	7	5	5	1	1	横浜市立大学	4	4	2	1	1	1
東京外国語大学	3	3	3	3	2	2	諏訪東京理科大学	1	1				
東京学芸大学	2	2			4	4	名古屋市立大学	1	1				
東京藝術大学	1	1			2		大阪公立大学	1	1	1	1		
東京科学大学	7	7					国公立大学合計	69	68	72	63	67	59
旧東京工業大学	(5)	(5)	5	3	3	2							
旧東京医科歯科大学	(2)	(2)	2	2	1	1							
東京農工大学	1	1	5	4	2	1	私立大学	令和7年	令和6年	令和5年			
一橋大学	3	3	11	10	6	6	合計	現役	合計	現役	合計	現役	
横浜国立大学	4	4	11	10	17	17	青山学院大学	36	34	35	31	27	27
富山大学			1	1			学習院大学	6	6	4	3	6	6
金沢大学					1		北里大学	8	8	5	4	6	5
山梨大学			1	1			慶應義塾大学	33	30	46	42	38	37
信州大学	1	1	2	2	1	1	国際基督教大学	1	1	5	4		
岐阜大学			1				国学院大学	9	9	4	4	14	14
京都大学	3	3	3	2	5	5	国際医療福祉大学			2	2	1	1
大阪大学	1	1	1	1			駒澤大学	5	5	11	10	5	5
神戸大学	1	1					芝浦工業大学	6	6	15	14	14	13
和歌山大学	1	1					上智大学	46	45	51	51	22	20
							成蹊大学	3	3	7	5	10	10

卒業生より

東京大学 文科三類 合格

6年間良き仲間達とともに過ごした桜修館での学校生活はとても楽しく充実したものでした。私は1年生の秋に身体障害を負い、2年生の夏休み明けに復学しました。学校側はしっかり支援の体制を整えていてくれて、同級生も積極的に私のサポートしてくれました。もちろん障害の関係で難しいこともありました。が、はじめからできないと結論づけるのでは

なく、先生や友達はどうやってできるかということと一緒に考えてくれたおかげで授業や行事ではできる範囲で様々なことに挑戦し、クラスマッチや台湾への修学旅行にも参加することができました。もともと殻にこもりがちな性格ですが、先生方、友人達のサポートのおかげで殻から引きずり出され桜修館で積んだ多くの経験を糧にこれからも頑張りたいです。



岡山大学 医学部医学科 合格

桜修館での6年間は、意識の高い仲間と熱心な先生方に恵まれた、かけがえのない時間でした。勉強、部活、学校行事、課外活動等、全てに全力で取り組みながらもメリハリを大切にできる環境の中で、大きく成長することができました。特に受験期は、仲間からの刺激と先生方の温かい指導が心の支えになりました。先生方に助けられ、仲間と共に励まし合った時間は一生ものの宝物です。また、桜修館は、生徒一人一人へのサポートがとてもきめ細やかで充実しています。私自身、夏休みには医療系の研究室のインターンに連れて行っていただきました。最先端の研

究に圧倒されて自分の未熟さを痛感すると同時に、医療分野への興味が深まり、医学部という進路の目標が明確なものになりました。その後の受験勉強も、そこで得たモチベーションを励みに乗り越えられました。そして、先生方の丁寧な指導と、仲間とのささやかな時

間が、私の夢を後押ししてくれました。桜修館では、挑戦する機会と支えてくれる環境が揃っており、この学校での出会いと経験は、私の人生を豊かにしてくれました。皆さんの桜修館生活が充実したものになることを心より願っています。



東京科学大学 工学院 合格

桜修館では、6年間を通して様々なことに挑戦する機会がありました。科学の甲子園東京都大会では、チームで協力して理数科目の問題を解き、協力する難しさと楽しさを実感しました。鉄道の車輪をテーマに研究を進めた科学部の活動では、その成果を発表する経験も得ました。さらに、大学が実施するプログラミング講座に参加し、大学一年生が実際に学ぶ内容を先取りすることもできました。もともと私は情報分野に関心がありましたが、こうした経験を通して、情報分野そのものだけでなく、それを社会に存在する課題の解決へと応用することに魅力を感じるように

なりました。桜修館で得たこのような気づきが、工学分野への進学を目指すきっかけとなっています。また、周囲の優秀な生徒から大きな刺激を得られることも、桜修館の魅力だと思います。行事や部活も含め、生徒それぞれが頑張りたいことに真剣に取り組む様子を見て、私も頑張ろうと思うことができました。特に最後の一年間、友人と互いに励まし合いながら勉強に取り組んだ時間は、忘れられない思い出です。これから桜

修館に入学される皆さんが、自分の進みたい道を見つけ、自分らしく歩んでいけるよう応援しています。



京都大学 医学部人間健康科学科 合格

桜修館では、自分を成長させてくれる人や機会と出会うことができると思います。私は、中高6年間部活動で吹奏楽に打ち込みました。大人数で音楽を作り上げること、ひたすら練習して良い音楽を目指す過程が本当に楽しかったです。苦しいこともたくさんありましたが、温かい先生方や先輩後輩、一緒に頑張る同期たちのおかげで乗り越えることができました。こうした経験のおかげで、多少できないことがあっても折れずに努力するという

点で強くなったと思いますし、これが受験期、そして今の自分に活きていると感じています。また、進路について考える機会が多く、相談の場が常に開かれていることで、京都大学で医学系の研究をして、将来は医療の方面から誰かを支えたい、という目標を見つけることもできました。桜修館の6年間では、自分の目標や支えてくれる人に出会い、たくさんの素敵な経験をできると思います。



部活動が活発に行われており、運動系・文化系ともに多くの部が実績を残しています。

運動系

- 男子バスケットボール
- 女子バスケットボール
- 女子バレーボール
- サッカー
- 男子硬式テニス
- 女子硬式テニス
- バドミントン
- 陸上競技
- 水泳
- 剣道
- 野球
(前期課程：軟式)
(後期課程：硬式)
- 弓道

文化系

- 吹奏楽
- フィールドワーク
- 日本文化
(かるた班・茶道班)
- 創作
- 写真
- 美術
- 科学
- 軽音楽
(後期課程から)



令和6年度部活動 実績

● 弓道部

<前期課程>

- ・東京都中学校弓道大会 女子団体 準優勝、女子個人1学年 準優勝、女子個人2学年 優勝、女子個人3学年 第3位、男子個人3学年 優勝

<後期課程>

- ・東京都秋季大会 女子団体 第2位
- ・東京都新人大会 女子団体 第2位、男子団体 第3位
- ・東京都遠の大会 男子団体 第2位
- ・東日本大会 女子団体出場、射道優秀校

● 陸上競技部

<前期課程>

- ・第70回全日本中学校通信陸上競技大会東京都大会 男子共通800m 第1位、女子1年800m 第3位
- ・第52回関東中学校陸上競技大会 男子共通800m 第4位
- ・第51回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子共通800m 第5位
- ・第55回U16陸上競技大会 U16男子1000m 出場

<後期課程>

- ・第77回東京都高等学校陸上競技選手権大会 兼 第78回国民スポーツ大会東京都代表選手選考競技会 男子走幅跳 第3位(関東大会出場)
- ・東京都高等学校陸上競技1年生大会 女子100m・200m 優勝(最優秀選手)、女子100mハードル 第2位、女子走幅跳 優勝
- ・第78回国民スポーツ大会東京都代表選考会 女子少年B100m 第2位
- ・第76回東京都高等学校新人陸上競技対校選手権大会 女子100m 優勝(関東新人大会出場)、女子200m 第2位(関東新人大会出場)

その他実績

- ・数学 第28回 算額をつくろうコンクール 金賞・関 孝和賞、銀賞・建部賢弘賞、銅賞・下平和夫賞



桜修館の1日

7:30 - 8:15 登校



8:15 - 8:20 朝学習・朝読書

落ち着いて1日を始めます。

8:20 - 朝学活

8:35 - 12:25 1～4 時間目授業



50分授業です。

12:25 - 13:00 給食



前期生は給食があります。校内で作っている温かく美味しい給食です。

13:00 - 13:20 昼休み

委員会を行うこともあります。

13:25 - 15:15 5,6 時間目の授業



学年によって7時間目があります。

15:20 - 終学活

放課後



部活動や委員会があります。図書館が開いており、利用する生徒も多いです。最終下校は17:00です。部活動は18:00まで活動することもあります。



放課後に先生に質問にいく生徒の姿もよく見られます。



制服

性別に関係なく

制服（ジャケット、スラックス、スカート等）を自由に選べます

- 濃紺をベースとしながら、生地の中に緑色の糸を縫い込んで、光の当たり方で微妙に色合いが変化するように作られています。
- プレザー、スラックスまたはスカート、ネクタイまたはリボンは全員着用です。
- 本校指定のセーター、ベスト(冬用・夏用)、ポロシャツ(夏のみ)があります。夏のシャツは半袖でもかまいません。
- 後期課程ではネクタイとリボンのデザインが変わります。
- 靴と鞆の指定はありません。

施設

八雲の丘に立地し、美しい木々に囲まれた校舎で6年間を過ごします。桜修館での6年間を支える施設設備が充実しています。



入試情報

このページの記載内容のうち「2. 募集人員」は令和7年度、それ以外は令和8年度の情報です。

1. 日程

事項	一般枠募集
出願	〔入力期間〕 令和7年12月18日(木)から令和8年1月16日(金)午後5時まで 〔書類提出期間〕 令和8年1月9日(金)から令和8年1月16日(金)まで ※入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイトに志願者情報等を入力することができる期間のことである。 ※書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を本校へ提出する期間のことである。
検査	令和8年2月3日(火)
発表	令和8年2月9日(月)
入学手続	令和8年2月9日(月)午前9時から午後3時まで 令和8年2月10日(火)午前9時から正午まで

2. 募集人員 ※令和7年度の内容を掲載しています

一般枠募集
160名

※ 特別枠募集は、実施しません。
※令和8年度入試から都立中学校、中等教育学校において、令和7年度現在の学級数で35人学級となる募集人員を定める予定。募集人員の詳細については10月発表予定。

3. 応募資格

- (1) 令和8年3月に学校教育法に定める小学校またはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者。
- (2) 保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者または保護者とともに入学日までに都内へ転入することが確実な者。

4. 出願

本校を志願する者は、他の東京都立中等教育学校及び東京都立中学校(以下、「都立中学校」という。)並びに千代田区立九段中等教育学校への出願はできません。また、他の都立中学校の特別枠募集への出願もできません。

- (1) 出願方法 インターネットを活用した出願を行い、かつその他出願に要する書類については、特定記録郵便(上記書類提出期間に、本校が指定する郵便局に必着(郵便局留))により郵送したものを受け付ける。
- (2) 出願に要する書類等 ア 入学願書、 イ 報告書、 ウ 応募資格審査関係書類(該当する者のみ)、 エ 入学考査料 2,200円

5. 報告書の取扱い

報告書は、「各教科の学習の記録(5・6年)」について別表に基づいて点数化します。「総合的な学習の時間」等のその他の欄については点数化しません。

- (1) 報告書
 - ・ 報告書は、評定(3、2、1)について、別表により点数化します。
 - ・ 報告書の満点は、450点とします。
 - ※450点満点で報告書点を算出し、総合成績算出時に300点満点に換算します。

別表	各教科の学習の記録	教 科	評 定					
			5年			6年		
			3	2	1	3	2	1
		国 語	25	17	9	25	17	9
		社 会	25	17	9	25	17	9
		算 数	25	17	9	25	17	9
		理 科	25	17	9	25	17	9
		音 楽	25	17	9	25	17	9
		図画工作	25	17	9	25	17	9
		家 庭	25	17	9	25	17	9
		体 育	25	17	9	25	17	9
		外国語	25	17	9	25	17	9
	各学年の満点		225				225	
	報告書の満点		450					

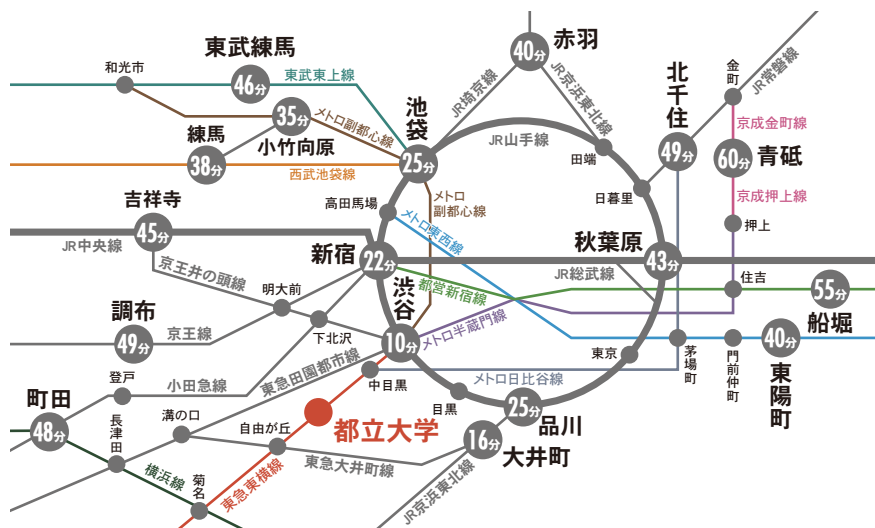
6. 適性検査

- (1) 適性検査Ⅰ 文章の内容を的確に読み取ったり、自分の考えを論理的かつ適切に表現したりする力をみる。
① 独自問題
- (2) 適性検査Ⅱ 資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
① 独自問題 ② 共同作成問題 ③ 共同作成問題

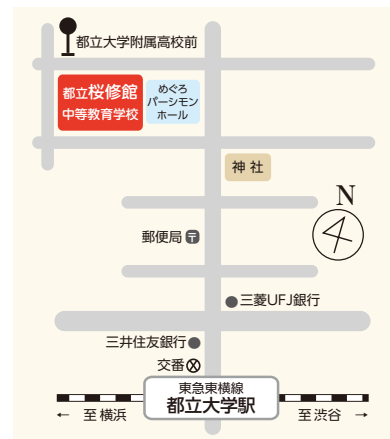
7. 合格者等の決定

- (1) 検査等の取扱い 合格者等の決定には、報告書、適性検査の結果を総合した成績(以下「総合成績」という。)を用います。それぞれの満点は、次のとおりとします。
- (2) 合格者等の決定
 - ア 合格候補者を、募集人員まで総合成績の順に決定します。
 - イ 募集人員に対して過不足のないように入学者を決定するため、合格候補者となっていない者のうちから、総合成績の順により、一定数の者を繰上げ合格候補として決定します。
 - ウ 上記アで定めた合格候補者を合格者、イの該当者を繰上げ合格候補者とします。

報告書の換算点	適性検査Ⅰの換算点	適性検査Ⅱの換算点	総合成績(換算点合計)
300	200	500	1,000



最寄駅	東急東横線「都立大学」 渋谷から10分	秋葉原から43分	吉祥寺から45分
		練馬から38分	赤羽から40分
		町田から48分	北千住から49分



交通機関

- 東急東横線
渋谷駅より各駅停車 10分
「都立大学駅」下車 徒歩10分
- 東急バス
JR目黒駅より
(黒07) 弦巻営業所行き 約30分
「都立大学附属高校前」下車



Tokyo Metropolitan Oshukan Secondary School

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2

TEL. (03)3723-9966

<https://www.metro.ed.jp/oshukan-s/>



桜修館公式マスコットキャラクター
おうじろー
© 桜修館 & Ayu